

【種類別明細書(一覧表)の記載例】

修正、誤り等がある場合は下記の方法により記入して申告書と合わせて提出をしてください。
修正がない場合にも「種類別明細書(一覧表)」を提出してください。

※訂正は「赤ボールペン」で
お願いします。

202126 大田市		種類別明細書(一覧表)										法 定 所 有 者 コ ー ド		税 務 課 長 官 官 署	
行	異動区分	品目番号	資産コード	資産の名称	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価率	1月1日現在 残存率	1月1日現在 理縮後価額	課税標準の特例	課税標準額	特例	備考
01	①	1 0000000001		アスファルトホソウ	1	3 50 05	5607000	10							2 取替え
02	1 2 3	1 0000000002		カーボート	1	4 03 08	90000	22							
03	1 ③	2 0000000003		トラクター	1	4 10 10	988100	8							改正
04	1 ③	6 0000000004		カラーコピー機	1	4 15 03	280000	10							錯誤
05	1 ③	2 0000000005		旋盤	1	4 18 05	2000000	13							改正
06	1 2 3	5 0000000006		フォークリフト	1	3 63 01	2103017	4							
07	1 2 3	6 0000000007		パソコン	5	4 12 04	1500000	4							
08	1 ③	6 0000000008		事務機 イス 一式	5	3 61 04	20000	15							2 廃棄
09	1 2 3														
10	1 2 ①	1		アスファルト舗装	1	4 20 09	6100000	10							1
11	1 2 3														
12	1 2 3														
13	1 2 3														
14	1 2 3														
15	1 2 3														
合 計															

加除訂正は赤ボールペンを使用してください。
※ 印欄は記入しないでください。

増加事由
1. 新品取得 3. 移動による受入れ
2. 中古品取得 4. その他

2 取替え
改正
錯誤
改正
2 廃棄

**耐用年数に修正
がある場合**

「異動区分」の修正(2)を○印してください。プリントされている「耐用年数」を2本線で抹消し、修正後の耐用年数を記入してください。

「摘要」に「改正」(平成20年度税制改革における耐用年数の見直しによるもの)か「錯誤」かご記入下さい。

①改正による変更の場合 ⇒ 「改正」

**前年中に取得した資産がある場合
(記載例10行目)**

「異動区分」の増加(3)を○印してください。取得した資産の内容は下記の「増加資産の記入箇所」を参考に記入してください。

**前年前に取得した資産
に誤りがある場合**

「異動区分」の修正(2)を○印してください。プリントされている「名称」「数値」等に修正があるときは、修正箇所を2本線で抹消し、その該当欄に正しい名称、数値を記入してください。

「摘要」には、修正の理由を記入してください。

前年中に減少した資産がある場合

・**全部減少** (記載例1行目)
「異動区分」の減少(1)を○印してください。「資産の種類」から「耐用年数」までを2本線で抹消し、「事由」には下記の1~4のうち該当する番号を記入してください。
1. 売却 2. 滅失 3. 移動 4. その他

「摘要」には、減少した事由により、売却先の名称、滅失の理由、移動の受け入れ先の所在地等を記入してください。

・**一部減少** (記載例8行目)
「異動区分」の修正(2)を○印してください。「取得価額」はプリントされている減少前の価格を2本線で抹消し、当該資産の残っている部分に対応する取得価額を記入してください。

「事由」「摘要」は全部減少と同じ要領で記入してください。

増加資産の記入箇所

①資産の種類
以下に該当する数字を記入してください。
1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 航空機
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

②資産の名称等
品名、規格、型式を記入してください。

③数量
個数、面積、距離等を記入してください。

④取得年月
資産を取得(購入、製作)した年月を記入してください。
年号は以下のとおりです。
1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 5. 令和

⑤耐用年数
減価償却資産の耐用年数に関する省令に掲げる耐用年数を記入してください。

⑥取得価額
資産を取得するのに要して金額(引取運賃、荷役費、手数料等も含む)を記入してください。
圧縮記帳は、固定資産税では認められてません

⑦事由
以下に該当する数字を記入してください。
1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受け入れ
4. その他

⑧摘要
課税標準の特例がある資産については「特例」と記入してください。
その他当該資産の価格の決定にあたって必要な事項があれば記入してください。

※裏面に【償却資産申告書の記載例】があります